

# 教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

|    |    |                                  |
|----|----|----------------------------------|
| 目次 | 1面 | 乗り入れ授業や児童交流で学校間の連携を推進            |
|    | 2面 | 令和4年度全国学力・学習状況調査質問紙から            |
|    | 3面 | 木育の授業を行っています、絆づくりメッセージコンクールで芦中表彰 |
|    | 4面 | リレーでつなぐ学校紹介(北日本自動車大学校)、留守番電話について |

## 乗り入れ授業や児童交流で学校間の連携を推進

本市では、「学びをつなぐ」「ふるさとを学ぶ」「人と人がつながる」の3つをテーマとして小中一貫教育の取組を進めていますが、その一つとして11月から12月にかけて、学校間での様々な交流が行われました。

中学校の教師が小学校に出向いての乗り入れ授業は、中学校進学を控えた6年生を対象に、市内で統一して取り組んでいる授業スタイル「芦別スタンダード」に基づいて進められました。

11月2日には上芦別小学校で、啓成中学校の数学教師による算数の授業が行われ、中学校で実施されている授業の進め方を体験しました。

12月12日には芦別小学校で、芦別中学校の保健体育教師による授業が行われ、二人一組での柔軟体操やバランスをメインとした運動をパートナーと協力して行い、授業の後半には、ゲームの要素を織り交ぜた内容で、子どもたちからも歓声があがりました。

6年生にとっては、間近に控えた中学校進学に向けての期待や、授業に対する不安の解消につながる有意義な時間になったようです。

また、芦別小学校の理科専科教師による芦別中学校1年生への乗り入れ授業も行われ、昨年まで小学校で教わった先生との再会となり、なごやかな雰囲気の中での授業となりました。



算数の授業での様子(上芦別小学校)



「WA(わ)になろう!」での交流の様子

令和6年度からの中学校統合を見据えて、小学校の段階からの児童間交流を行い、スムーズに中学校生活に入れるためのきっかけづくりを目的として行われた今回の交流では、お互いを理解し合い、今後一緒に学校生活を送るための安心感や信頼をはぐくむ機会になったことと思います。

さらに、小学校間の交流と連携を図ることを目的として、12月13日には芦別小学校で、連携事業「WA(わ)になろう!」が開催されました。

この事業は、両校の児童同士の交流をメインとし、3時間目と4時間目に芦別小学校6年生と上芦別小学校6年生が交流したものです。芦別小学校の児童会長からの歓迎のあいさつの後、ビンゴゲームの要素を含んだ自己紹介、両校交互のチーム編成による様々なレクリエーションが行われました。

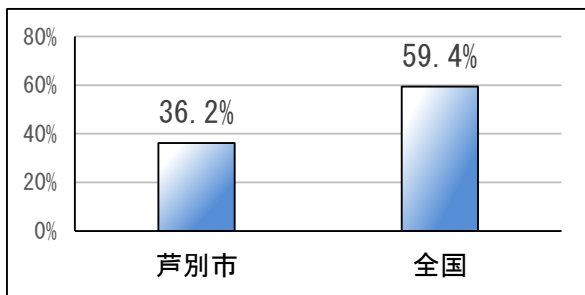
## 令和4年度全国学力・学習状況調査質問紙から

毎年4月に実施されている全国学力・学習状況調査では、子どもたちの学習習慣や生活習慣などに関する質問紙調査もあわせて行っています。

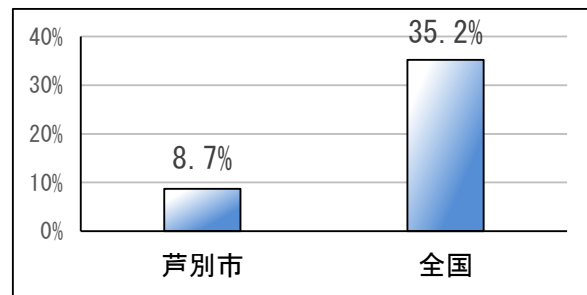
令和4年9月の教育だよりでは、学力調査の結果概要をお知らせしましたが、今回は、質問紙調査の中から、学習習慣に関する結果についてお知らせします。

### ①学校の授業時間以外（月曜日から金曜日）の、1日当たりの勉強時間

#### 【小学校】1時間以上勉強している割合

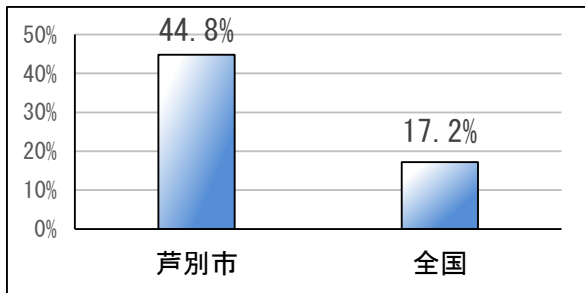


#### 【中学校】2時間以上勉強している割合

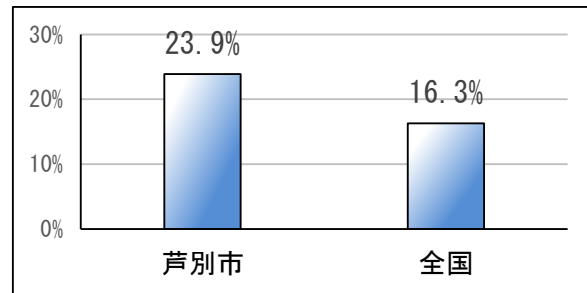


### ②普段（月曜日から金曜日）、1日4時間以上テレビゲームをしている割合

#### 【小学校】

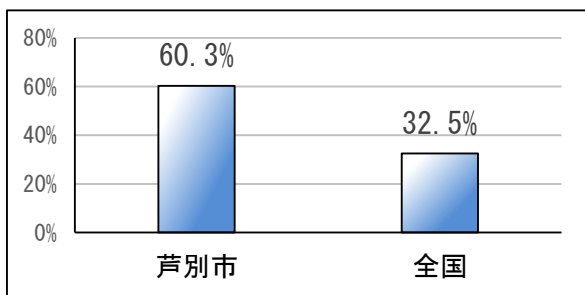


#### 【中学校】

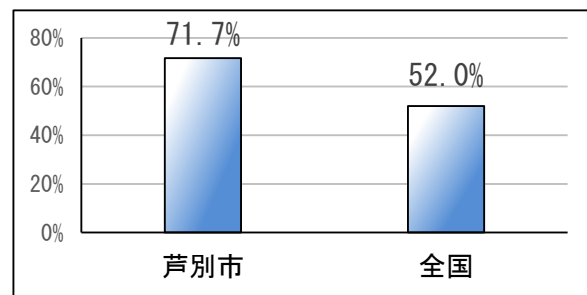


### ③普段（月曜日から金曜日）、スマホなどで1日2時間以上SNSや動画視聴をしている割合

#### 【小学校】



#### 【中学校】



上記のグラフから、芦別市の児童生徒は、全国に比べて1日の学習時間が短く、テレビゲームやSNSを利用する時間が多いことがわかります。これらの項目は、学力調査での正答率にも関係しており、1日の勉強時間が長いほど正答率が高く、1日のテレビゲームやSNSを利用する時間が長いほど正答率が低いという分析がされています。

学校では、1日の適正な家庭学習時間を「学年×10分+10分」としています。スマホやパソコンは、子どもたちの将来においてとても大切なツールですが、家庭においても利用時間などのルールを決め、「学年×10分+10分」を目標に家庭学習に振り向けることで、望ましい学習習慣、生活習慣の確立につながります。ご家庭でのご協力と取組をお願いします。

※本年度の全国学力・学習状況調査の結果については、芦別市公式ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。（右のQRコードからもご覧になれます→）

（<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/4807.html>）





# 木育の授業を行っています

本市では、ふるさと教育の一環として「炭鉄港」とともに本市の基幹産業の一つである「林業」に関する学習として、「木育」にも取り組んでいます。

上芦別小学校では3年生の授業で「滝澤ベニヤ」の工場見学を行い、ペーパーウツの製造工程の見学を行ったほか、あしべつ未来の森協同組合や、芦別市農林課のかたがたを講師に迎えて、上芦別小学校で林業に関わる道具の使い方や、ドローンによる森林の撮影、森林によるCO2の削減効果やSDGsとの関連なども学びました。

また、芦別小学校では旭町油谷で、二酸化炭素の吸収能力が高いことで注目されている道内松「クリーンラーチ」の植樹を、上芦別小学校と啓成中学校では、校内の敷地に市の木である「ミズナラ」の植樹を、空知総合振興局森林室などの林業関係機関の協力を得ながら行っています。



上芦別小学校での植樹の様子

このような地域の基幹産業などの身近な教育資源を活用することで、本市のふるさと教育を推進し、郷土に愛着を持つ子どもの育成につなげていきます。

# 芦別中学生徒会が絆づくりメッセージコンクールで空知管内最優秀賞を受賞

このコンクールは、北海道教育委員会（北海道いじめ問題対策連絡協議会）が道内の小中学生や高校生を対象に、いじめやネットトラブルの根絶を目指して、よりよい人間関係づくりを呼びかけるメッセージを募集し、いじめの根絶とインターネットの適切な利用に関する啓発活動に活用するため、毎年度実施しているものです。

今年度の「ことば・メッセージ団体部門」には、空知管内の中学校から57点の応募があった中、芦別中学校生徒会が応募した作品が空知教育局最優秀賞を受賞しました。

### ◆芦別中学校生徒会が応募した作品



※この作品は、いじめ撲滅に向けた目標として、学年を超えて議論されたもので、「自分とは価値観や考え方の違う仲間を尊重したり相手の心を大切にしたい」という思いが込められています。

### ◆応募に関する取組



- タブレットを活用して意見交流、グループでメッセージを検討
- 生徒会総会でメッセージを決定し発表

### ◆賞状授与式の様子



• 令和4年12月13日に空知教育局職員から前期の生徒会長と書記長に賞状が授与されました。

## 保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

- 【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
- 【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696
- 【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

## ～リレーでつなぐ学校紹介～

リレー方式で市内の教育機関の取組を掲載しています。

第8回目は

北日本自動車大学校！

### 現場実習でリアルな整備業務を体験

本学は、文部科学省から「職業実践専門課程」の認可を受け、企業と連携した実践的な教育を実施しています。

今年度も（株）ネクステージ様の旭川支店において、企業の採用・教育担当者の方に講師をお願いし、実際にお客様がいらっしゃる工場で実習体験をしました。

店舗や工場では、社員の方々が機敏な動きで業務に取り組み、開店したばかりのフロントでは、多数のお客様が商談等にお見えになり、整備業務の現実を肌で感じることができました。

そのほか、自動車販売会社のサービス担当者が学校にお越しになって、新しい自動車の最新技術や故障診断方法などを実際に車両を用いながら講習していただいたり、講習最後には、学校が所有しているテストコースで車両に同乗し、新型車両のフィーリングを体感する技術講習会を毎年行って、新しい技術の習得をしています。

普段の学校の授業ではなく、実際の作業現場での体験や新型車両を用いて診断技術を学ぶことによって、社会に出たときに即戦力となる自動車整備士を養成して、車社会に貢献できる人材を育成しています。



専門学校北日本自動車大学校  
教頭 斉藤 敏幸

## 市立小中学校における留守番電話対応の実施について

教育委員会では、教職員の働き方改革の一環として教職員の勤務時間外における業務負担の軽減を図り、教員の本来の業務である授業づくりや子どもたちの指導に専念できる環境を整えるため、市立小中学校において留守番電話対応を実施することとしました。

放課後等の勤務時間外の電話対応は、次のとおり留守番電話での対応となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

●運用開始日 令和5年1月4日（水）

●留守番電話対応とする時間帯

〈平日〉

- ・芦別小学校 午後6時30分～翌日午前7時00分
- ・上芦別小学校 午後5時30分～翌日午前7時30分
- ・芦別中学校 午後6時30分～翌日午前7時30分
- ・啓成中学校 午後6時00分～翌日午前7時40分（5月～9月）  
午後5時30分～翌日午前7時40分（10月～4月）

〈土・日曜日、祝日、年末年始及び学校閉庁日〉

・終日

〈長期休業期間中（春季・夏季・冬季）の平日〉

- ・芦別小学校 午後4時30分～翌日午前8時00分
- ・上芦別小学校 午後4時35分～翌日午前8時05分
- ・芦別中学校 午後5時00分～翌日午前8時00分
- ・啓成中学校 午後4時40分～翌日午前8時10分

●その他

- ・留守番電話は伝言メッセージの録音はできません。
- ・学校施設や、児童生徒に関することで急を要する場合は、芦別市役所（22-2111（代表））へご連絡ください。

